

多市議第123号
平成29年11月15日

多久市長 横尾俊彦様

多久市議会
議長 山本茂雄

新多久市立図書館整備計画再考の申入書

市議会では、市より新多久市立図書館建設に向けての基本理念や基本方針、サービス及び機能、施設の建設候補地・建築面積・敷地面積等について説明を受け、そのことに基づき議員協議会を開催いたしました。

現在、多久市温泉保養宿泊施設（タクア）及び周辺施設整備の問題も残っており、同じく、旧緑が丘小学校跡地に建設予定の弓道場の整備についても、施設整備はもちろんのこと、国体後の施設の維持管理・運営など不透明な部分もあります。他にも市立病院統合の問題も残されています。

また、市が保有する公共施設の多くは十分な維持管理がなされていない状況にあり、今後発生する老朽化施設の建て替えや改修なども考え合わせると財政に及ぼす影響も非常に大きく、今回の早急な図書館整備計画については見直すべきとの意見が大勢を占めました。

以上のことを踏まえ、市議会として今回の図書館整備計画（案）について、多久市温泉保養宿泊施設（タクア）や弓道場整備、他の施設整備の状況など見定め、また公共施設の総合的な維持管理計画を考え合わせたく、下記のとおり図書館整備計画の再考を申し入れます。

記

- 1 人口減少が続くなか、また老朽化施設の建て替えや改修のことを考えれば施設はできるだけ統合することが望ましいと思われる。時期を遅らせてでも他施設との複合型の施設整備は考えられないか。
- 2 このまま人口減少が続けば、市民一人当たりの施設維持費の負担は増え続けることになる。図書館については、運営方針によって維持管理費は大きく変わる事となる。市議会として判断するにあたり、施設整備後の維持管理費について、具体的に試算した数値を示してもらいたい。

- 3 現在、出版業界からの文庫本貸し出し中止を求める声や、ICT導入などにより、これまでの図書館自体のあり方がここ数年で変わるかもしれない。財政的に豊かな市でもなく、今すぐ整備しなければならないものでもないので、慎重に議論を行ってほしい。